東京歯科大學同窓会報

東京都千代田區神田三崎町一ノ七
発行所
東京歯科大学同窓会
編輯兼発行人　加藤倉三
電話九段(33)一〇〇〇

歯科醫界の希望を擔つて

第五三回卒業式擧行

新たに迎う新会員一五六名

天候わの三月二十五日午後一時より本校中央ホールにおいて第五十三回卒業式が來賓、父兄、職員、同窓參集の下に盛大に擧行された。思えば、今、母校を巣立ちゆく一五六名の若人たちは、戰局日に惨烈を極めつゝある昭和十九年四月本校に入学して以來、その学びの道は、敗戰と戰後の混乱の渦中に正に荊の道でもあつたのである。今日この卒業の盛典に列するもの均しく万感胸に迫るものがあつた。式は安井教授の学事報告に次いで卒業証書授與、賞状授與があり、校長告辞、文部大臣祝辞、同窓校友代表（大沢虎雄氏）祝辞、卒業生総代答辞があり、午後二時三十分盛會裡に終了した。我が同窓会もこれ等新進の会員を迎え、益々その発展が期待される。

祝辞

同窓校友代表　大沢虎雄

光栄ある第五十三回卒業式に列席し同窓会を代表して祝辞を述ぶるは、私の最も光栄とする処であります。諸君は所定の学課を修了し殊に最近著しく進歩しつゝある学術技術を習得し、社会人として発足せられんとするは誠に栄誉であつて諸君の悦びは勿論御家族の悦びはさこそと御察し申ます。

さて愈々社会に出て新に歯科医院を開業経営するに当て、從來やゝもすると其地方の先輩同業者の業務振りを眞似て所謂成功を収めんとするために、学校に於て学びたる尊き新らしき学理や技術を棚上げして、兎角平凡なる旧式粗略の弊に墜するものがあつた。現に最近山口縣の某地で本校を最近出られた新進の開業歯科医が時代の寵児たる線クラスプの使用に就て、先輩歯科医の有志者を集めて研究会を指導して居らるゝと云ふ事を聞いたが此の一事を以ても現に諸君の理想が開業後の矛盾に逢着するかを経験せらるゝであろうと信ずる。かゝる場合諸君は須らく確固たる信念をもつて進んで之れを征服し、新進歯科医の本分を全ふせられん事を切望致します。

吾同窓会もこゝ新に而かも新進氣鋭の会員百五十六名を加へました事は誠に喜びに堪へません。由來他にあまり類が少いと思はれる本会の隆昌は前血脇会長を中心に発達しよく先輩を尊敬する美風を特長に一大家族的の親睦を重ねて來て居ります、何卒爾今本会員として大に活動せられん事を希ふ次第であります。

答辞

本日のよき日を卜し茲に來賓各位並に恩師諸先生の御臨席を辱うし、我等卒業生一同の爲斯くも盛大なる卒業証書授與式を挙行して下さいますことは、一同の最も光栄とする所でありまして、誠に感謝感激に堪えません。

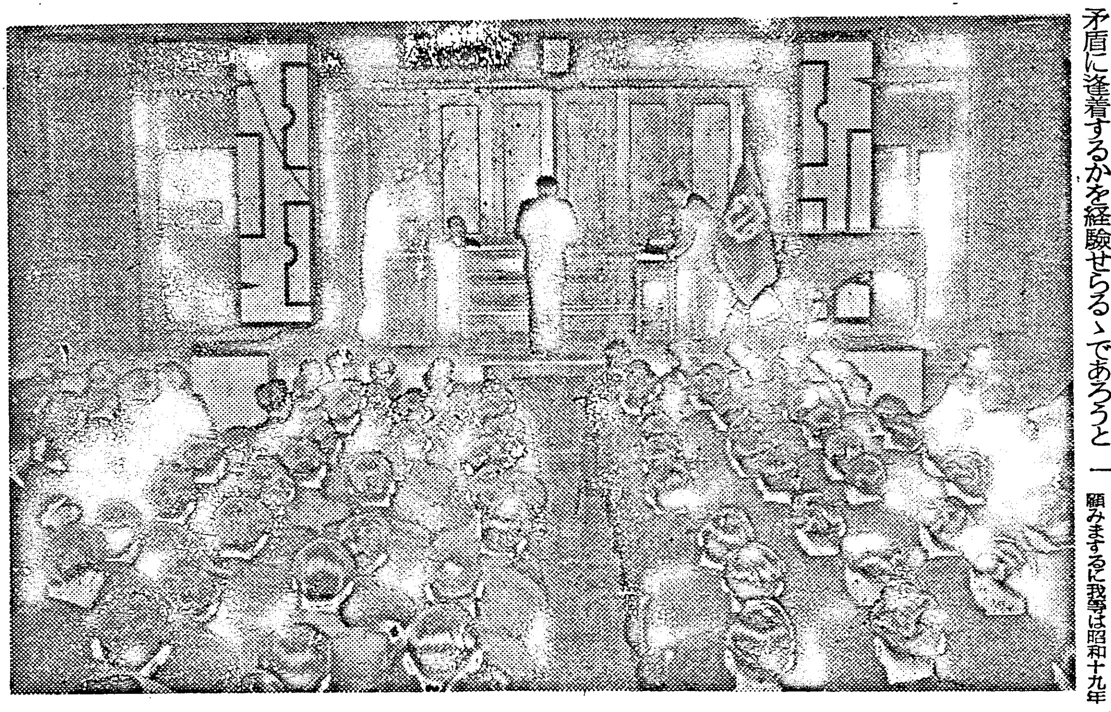
只今校長先生よりは御懇篤なる御教訓を賜り、且御來臨の各位よりは御叮嚀なる御祝詞を戴き言々句々誠に感銘致して居る所であります。

顧みまするに我等は昭和十九年四月此の水道橋々畔に聳ゆる本邦歯科医学の先駆をなし燦然たる歴史に輝く本校に入学の希望に燃えその門を叩き、爾來四星霜悽慘なる戰の只中にともすれば学のペンをも擲ち或時は農村に鍬をとり、惨禍の東京に及びました後はあの思出多き韮山の疎開に、迂余曲折の斯道の探究に何と波瀾の多かつたことでありませう。併し戰い利あらず祖國は遂に敗戰の憂き目に会い、我等青年学徒も大きな精神的打撃を受け、やゝもすれば前途に対し目標を失いかける事もありましたが、諸先生方の適切なる御指導により、挫けんとする我等の心に希望と光明を與えて下さいました。併し終戦後の勉学も混沌たる社会の混乱に捲込まれ決して恵まれたものとは云えませんでしたが、時の経つにつれて次第に勉学や生活も軌道に乗り、歯科大学創設の頃には前途も愈々開け、新憲法の力強き発足と共に新しき日本建設の実も上がり、我等歯科医学徒は大いなる希望と覚悟とを新に致した次第であります。

今茲に学業を終えたとは云え歯科医学は深遠にしてその完成を期すべきもの寧ろ今後に俟つべきもの多きを考えます。我等はこの間学び得ました所のものを基礎として眼前に控える國家試験に備え、母校の名譽を賭して奮鬪敢闘以て諸先生並に同窓諸先輩の御期待に背かぬ事を御誓い致したいと思います。幸無事通過の曉には益々斯学の研鑽に精進し、新たなる民主國としての基盤に立ち、以て人類福祉の爲貢献致し度き所存であります。今や母校を去るに当り萬感交々至り述べるに言葉を知りません。

諸先生方には御自愛専一に遊ばさる様、また母校今後の一層の御隆昌を祈り、何卒相変らぬ御指導と御鞭撻とを希い蕪詞を連ねて答辞と致します。

昭和二十三年三月二十五日
東京歯科医学専門学校
第五十三回卒業生総代
三宅直晴



整備着々進捗す

母校附属病院の新装成る

学部開設を明春に控え、病院内を整備、研究施設を拡充するため諸種の計画がすゝめられているがこゝに院内整備の状況をお知らせしたい。

一、ユニット、電氣エンジン新設

保存部診療室に各四七台、補綴部診療室に各二二台、矯正部診療室に各五台、保存部第二診療室に電氣エンジン二台、合計ユニット（H型）七四台、電氣エンジン七六台を新設するため、昨年六月、京都市森田医器製作所に注文を発した。ユニットは補綴部、保存部矯正部診療室の順序で逐次取り付けを行い、本年一月これを完了した。電氣エンジンは、矯正部、補綴部、保存部及び保存部第二診療室の順序で取り付け、本年四月に完了した。

なお、保存部第二診療室には本年四月森田製作所の寄贈になるB型ユニット二台を新設した

一、電氣配線工事

電氣エンジン新設に伴い、保存部補綴部及び矯正部診療室に、新たに電氣配線を施し昨年十一月に完成した

一、診療室床のはりかえと研磨

ユニット取付に先だち、補綴部診療室と保存部診療室の床（計一三七、五坪）を新らしくはりかえ、補綴部は昨年十一月、保存部は十二月に完成した。また、矯正部診療室（昨年十二月）外科部及び腫瘍科診療室の床（計七三、五坪）本年二月、グラインダーによる研磨を行つた

一、保存部第二及び補綴部第二診療室のリノリウム（計一五、五坪）のはりかえを、昨年十二月と本年二月に行つた

一、外科手術室に滅菌水装置を、本年二月に新設した

一、治療台の塗装

昨年十二月に、補綴部、保存部保存部第二及び腫瘍科診療室、本年一月に矯正部診療室、本年四月に外科部診療室、手術室、レントゲン室、合計一〇七台の治療台の塗装を行つた。

一、本年二月、補綴部研究室に¼馬力モーターレーズ五台を新設、また四月には、保存部研究室にミクロトーム二台その他及び孵卵器一個を新設した。

一、院内塗装

保存部第二診療室は昨年十月、補綴部第二診療室は十二月、それぞれ塗装、また各部診療室、手術室、準備室、レントゲン室、病室、配膳室、補綴部研究室及び学生作業室、示説室、便所、廊下、天井、壁、ドア等、院内全般に亘つて、本年三月塗装を終つた。

一、今後の計画

腫瘍科診療室にユニット、電氣エンジン各七台を、また外科部手術室にポータブル電氣エンジン一台診療室及び示説室に治療台各一台を新設するため、本年五月、森田製作所に注文を発した。七月末に着荷の予定（松山不二）

EISAI
現代齒科理論に立脚せる待望の埋沒材遂に現はる
クリストバライト インベストメント
東京都文京区竹早町八八
日本歯材株式会社

母校助教授新任

五月一日附を以て左記四氏が助教授に新任された。

講師　岩沢易、同　加藤倉三
同　坂本英次、同　坪井邦久

附属病院補綴部長交迭

去る四月一日附を以て母校附属病院補綴部長の交迭が行われた。新部長には北村勝衞教授が任命され、旧部長藤上喜久男教授は補綴学研究部長に任命された。

従つて補綴学に関しては実習は矢崎教授、臨牀実習は北村教授、研究については藤上教授が担当し本校における補綴学の躍進が期待される。

殊に研究部においては補綴学と理工学との関係に目下研究の主点が置かれていることは注目される

むしば予防教育 実践強調運動

文部省においては來る六月一日より十日までをむしば予防教育実践強調運動期間とし、体育局長より各都道府縣知事宛に通牒を発し本運動を推進することゝなつた、文各地区の保健所、歯科医師会の全面的協力が要望されている。

むしば予防教育実践強調運動について

今回別紙要項（略）によつて「むしば予防教育実践強調運動」を全國の学校に展開し学徒にむしば予防教育を施し、むしば予防知識の向上を図り予防生活を実践せしめると共に、家庭及び社会にまでその滲透を図ることとなつた。都道府縣においてはそれ〴〵地方の実情に即した具体的計画をたて本運動の趣旨徹底に遺憾なきを期せられたい。

尚本運動終了後は都道府縣においては各学校より実施概要を徴してこれを取まとめ本月末日までに文部省体育局長宛に提出されたい。

血脇先生の追想

宮森先生に訊く

六十年前血脇先生と慶應義塾に同期として学ばれた宮森麻太郎先生を品川区上大崎の御宅に訪ねる。先生は血脇先生より一歳の年長だが相変らず壮者をしのぐ御元氣で目下参議院で飜訳に従事しておられる。たゞ老夫人が戦時中の骨折がもとで撞木杖にすがつておられるのが痛ましい限りである。御夫妻交々むかしを語る。（風間又四郎）

「僕は一体実に忘れつぽいんでね、そりやもう実に忘れる、不思議に忘れるね、こりや一体どうしたもんだろうね君、え、君、アツハハ（と細いけれど鋭く光る目を眼鏡の中から凝と見詰えたかと思う途端に笑い声が爆発して顔中が崩れてしまう先生独得の表情）自分で紹介した人の名前まで忘れちまう。但しこれはモウロクのためではありません、若い時からそうなんです、尤も英語だけは忘れないがね、いやそうでもないかな、何しろ君、もう八十になつたからね、然し病気なんか絶対にかゝらん、明治二年生れだが、十二年生れだなんていつてやる、誰れも何んとも言わんアツハハ。だからね血脇君のことだつてまるつきり忘れとるが、たゞ不思議に思つたのは、ほんとにあの時ばかりは不思議でたまらんのじやつたが、塾を出てから幾年かして血脇君が歯医者の高山のところで書生になつとるということを知つた時には実に不思議千万な男だなあ、変なやつだなあと思つたね、それというのが、その当時の歯医者というものは一般に香具師とかね入歯歯抜とかいうたぐいとして軽蔑されていた時代でね、僕なんかもそうした感じが強くこびりついていたんだから、そりや君、とてもどう考えたつて割り切れんのじや。ところがだね、それからずつとあと、血脇君が三崎町に開業した頃に僕は治療を受けに行つた―僕達夫婦とも血脇君から治療してもらつたが―その時の血脇君の姿を見て驚いた、ほんとに驚きました、いやもうこれこそ典型的な英國風紳士というものであろうと思つたな、僕なんかと違つてあの背の高い堂々たる風采にキチンとした格好のいゝ服を着てね、そうして君、あの立派な洋間を上品に飾つてね、そこでこつこつ治療をしている姿なんていうものはキレイでしたな、実に立派だつた、僕もあとで英國に暮したことがあるが、あれは英國風です今思つたつてたしかに英國風の紳士です、それに治療が実にうまかつた、治療はうまかつたです、今でも僕は感心しとる」

（その感心を老夫人が引き継ぐ）

『そうで御座いましたよ、わたくしもこの奥歯が半分欠けました時にね、血脇先生がこつこつあの何と申しませんですか、槌で叩くんで御座いますね、ほんとに、お上手でいらつしゃいましたそれからね、こんなことは別のことで御座いますがね、血脇先生が御立派でキレイな方であつたとゆうことにつきましてね、こんなことがあるので御座いますよ。高根さんとゆうお嬢さんがいましてね、いきなり斯う申してもなんですが、あすこは、えゝとなんと申しましたか知ら、芝の伊皿子ですね、後に岸さんの邸になりましたが、あすこに高山紀齋さんが居られました頃なんで御座いますよ。その高根さんて方が歯がわるくなりましてね、丁度高根さんの通つていたフレンド女学校がその近くで御座いましたんで高山さんに出かけて行つたんです、さうするとそこに当時の血脇さんがいらしつたという訳で御座います。そうすると高根さんがですね、それからとゆうもの高山さんとこに血脇さんとゆうとてもキレイな美少年がいるつてその噂さばかり、それでねまあそのためかどうですか高根さんは到頭一生結婚しませんでね英語の先生になつてずつと御過ごしになつたんですの、七八年前でしたか久振りでお会いしましたらね、ほらあの頃高山さんとこにいらなつた血脇さんてゆうキレイな方いまどうしていらつしやるでしょうといわれますからね今ではもう頭に一本も毛のないお爺さんと申しましたの、そうすると高根さんがまあそうですか、とても肌のキレイな方でしたつけねえて仰有るの、丁度その頃血脇さんにお目にかゝりましたんでそのお話をしてとてもほめていましたわと申上げますとね、どんな婆さんだか会つて見たい会わせろと仰有つてゞしたけど到頭それつ切りになつてしまいました（と老夫人のお話は澄みわたる水のように淡々として流れ去る）

「これは面白いアツハハ（と先生は大いに笑ふ、その笑いのいまだ尾を曳かざるに途中からプツリと惜し氣もなく切り捨てゝ今笑つた顔が急にしみじみとした表情に変る）ほんとに血脇君はいゝ人だつた、奧さんも実にいゝ人です、僕はね八十になるまで随分沢山の人と交際した訳だが、あの夫婦くらいよい人はありません」

（夫人がこれに續ける）「ほんとにそうですね、いつだつたか知ら、血脇さんのお宅に伺いました時、奥さんが饅を取りよせて下さつたりしておもてなし下さいましたの、ところがわたしと來たらその饅つてものをあまり好きませんでね折角の御馳走ですのに別に取りわけたりして頂いて参りましたの、そうすると血脇先生がね、それ喰はんのか、そんならわたしがたべるなんて仰有いましてね無雑作に召し上るんですよ、そんなところに何ともいえない情味とでも申しますんでしようか、ほんとうに少しも隔てのないよい方で御座いましたわ」

「ところでね君、いくら忘れつぽい僕だつて何か思い出さなきや相済まんがね、ねえ君、え、君、そうでしよう（と爆笑の伴奏）まあ塾にいた頃のことを思い出して見ると、血脇君は学問の方面は度外視していたな、これはひとり血脇君だけじやない、当時の連中はみんなそうだ、特に英語なんか殆ど問題にせん僕は特別に英語が好きという訳ではなかつたけれど、まあやつたんだね、クラスは二十四人であつたが英語を勉強していたのは僕だけだ、いや高山長幸がやつていたな。英語は一週十時間であつたが、その英語なるものが憲法論とかミルの代議政体だとかこれがまたむずかしいのじや、それを四時間は先生が教える、あとの五時間は輪講をする、ところが下調べをして來るのは僕と高山君だけさ、あとの連中はだれも調べて來ない、だもんだから英語の時間の前になると、いつだつて僕と高山の周りに集つて來てこれは何だあれは何だつて大騒ぎさ、それで自分で調べて來たような顔をしてごまかしてしまう、英語をほんとにやるものはなかつたもんだ、まあ兎も角、血脇君は学問の方は余り眼中になかつた、要するにそんな末節のこせこせしたことにはこだわらんとゆう風だつたな。ただね、血脇君は妙な男でね、その頃から人相とか骨相とかゆうつまらん事をやりましてね、君は出世するとか、君は出世しないとか馬鹿げたことをやりをつたです、どうも何か迷信家である半面があつた、あれはいかん、易の本か何か見たらしいが、そんな迷信や科学的でないことは断じていかん、いけません―いや、これはとれは、どうもね君、僕のゆうことは辛辣かね（と爆笑）こんなことをいつたつて決して悪口じやありませんぜ、血脇君の道楽に対する批評だ、もちろん血脇君の徳を傷けるような問題じやない、だけどこんなことは書いてもらつちや困る、ほんとに（と重ねて爆笑）。然し血脇君も実に立派なものであつたことは一を一言にして表現すると何とゆうのですかな、一個の歯科医として先刻もいつた通りだが、それより何か大きな事業を成し遂げる人間的の要素をあらゆる点に於て兼ね備えていた、これは間違いありませんな、稀れに見る堂々たる風采、そのほかにいろ〳〵運に恵まれてもいたと思うが、実におだやかで親切で思いやりが深くつてね。そして人を助ける、実によく出來た人でしたな、すべてはこれ血脇君の人徳だ、徳です。僕はね、慶應の塾出身者を見渡して血脇君と鎌田栄吉君、この二人が最も立派な人だといつも思つているのです。僕はね、いつもそう思つているのです」

その日のこと

工藤鉄男氏談

わたくしが血脇校長と知り合いとなつたのは野口英世君の紹介によるものであつた。当時医界の名士に川上元華（元治郎）君という人がいたが、川上君は蠻の人でもあつたのでわたくしと交遊するところがあつた。この川上君が面白い人物を紹介しようといつて引き合はせてくれたのが野口、これが縁となつて野口と親交を続けることゝなつた。当時の野口は高山先生の食客であつたが血脇君もこれまた同様の身の上であつた。凡そ天下に食客居候の数は多かろうが血脇、野口ほどの食客を置いたものは稀れであろう。それは兎も角そんな次第でわたくしは野口を知るとともに高山歯科医学院を知つた。それは実に見すぼらしい学校であつたが、そこで初めて見た奥村君はまだ十七八才の美少年であつた。篠沢君もまた然りだ。或る一日、野口がどうだいうちのおやじにも会つて見ろというのである。その頃から既に血脇君はおやじと呼ばれていた。

その晩、血脇君は富士見樓に席を設けて野口君とともにわたくしを迎えてくれ、そこで初めて血脇君と酒盃を交換して大に歓談したが、これが第一次会であつた。第一次会というからには第二次会のあつたことを想像してよろしい。その第二次会も三人でやつて大に痛飲し大いに快談している最中に血脇君が何やら野口に耳打ちした。すると野口君が急にどこかへ行こう、河岸をかえようと言い出して血脇君を残して二人でそこを出たのであるが、河岸をかえたその行く先はなんと吉原の大門をくゞつて角海老樓に案内されたのである、これがその夜の第三次会となつた。

翌朝になつて帰ろうとするのに野口は帰ろうといわない。どうしても動かない。仕方がないから野口を残して一人で帰つた。ところが野口は翌日も耽溺になつて遂に三日目になつて馬を引張つて血脇君のところに帰つて來た。すると流石に血脇君は千軍万馬のつわものである故に、野口が、犬馬の労をつくして大いに工藤を歓待したる功を賞で、馬の料金をしたたか出した上に少なからぬ金円を野口に與えたので野口は実に勇躍して再び吉原に引返したのである。

こうゆう次第で血脇君と相識る機会を得たのであるが爾來交遊幾星霜、遂に血脇君は歯科界の偉人となつたばかりでなく実に世界的の巨大なる足跡を留めて功成り名遂ぐるに至つた。五十年前に垂んとするその夜のことは今なお歴然としてわたくしの目に浮ぶのに野口は早く逝き更にまた血脇校長とも相語ることが出來なくなつた。

恩師を偲ぶ

石塚三郎氏手記

血脇先生の一周忌辰に当り聊か感想の一端を述べて恩師の高徳をしのびたいと思う。

私は明治三十年四月廿五日に血脇先生の門下生となり終生の恩師としての縁が結ばれたのであつた更に思い設けぬ事は野口博士とも終生親交の縁を結んだのである。

入門早々先生は余を一室に招かれ「野口君の学才は非凡なもので語学などは天才と云うべく不規則な独学で今は原書も通読する飜訳もする会話も出來る文学も同様で匆々の間に書いたものが立派な文章をなして居る。理智的方面は云うまでもない実に稀に見る英才だ。僕は心窃かに後日の大成を期待して居る。然し斯う云う人には有り勝ちな氣六ケ敷しい節もあり、人と親み難い点もある。君は大抵承知であろうが能く融和し交りを完うし、学院の爲め盡力し併せて野口君の大成に協力されたい。」との御訓戒であつた。余は謹んで御訓戒に背かぬ旨を御答えした。

学院診療部の収入は一ケ月卅円位の処、五月は二倍、六月には三倍と云う成績が挙つたので先生は大に喜ばれ、更に暑中休暇を利用し石川縣下に出張治療する事となり、余も随行を命ぜられた。七尾小松の二ケ村に各一月を費し、多数患者の礼賛を受け千金を懐にして帰つた、此の結果野口君は済生学舎に入り秋の後期医術開業試験学説並に実地に及第せられ、余も食費免除の恩典に浴した。翌三十一年五月余も亦歯科試験に合格したので余及び野口君を学院の留守番として血脇先生は又々渡清の計画をなされた。歯科医術を清國に扶植し善隣の誼を完うせんとの大志を懐かれ渡清せられたのである。天津には内外人の大歓迎を受けられたので余に渡清を命ぜられた。將來らば万金を得る朝飯前なり野口の洋行費何で澆るに足らんやの抱負であつた余は十一月玄海丸にて天津に航し、北京に到り翌三十二年三月下旬上海に赴き此の間幾多の困苦艱難と闘つたが、期する処は先生も余も野口君の大業を達成せしめんとの熱望に帰着するのであつた。

春城市島翁は血脇君の歯科医学専門学校を創立し歯科医学会並に医師会を開拓指導せられたる功労は甚大なるものであるが猶他にそれ以上の功績がある、それは野口英世博士を米國に送り世界的偉人として祖國の爲め萬丈の氣焔を吐かしめた事蹟を随筆に載せてある終りに臨み左の二絶句を靈前に供する。

會同御柳入櫻門。難忘醫師病獄恩。
至誠至情場泪傑。滿彈老涙獨招魂。

曾期醫國入燕京。凜烈朔風揚手行。
今也先生呼不返。嗚耶非夢奈斯情。

23000の歯科諸先生のために！
水準の高い機械器具を提供
何はともあれ御照会を
日本歯科機材株式会社
東京都中央区日本橋茅場町二ノ八
電話茅場町（66）1012—3・4977—8

愛知縣幡豆郡同窓会

縣支部に呼應四月二十九日午後四時西尾町菩新にて幡同窓会を左記の通り開き（現在十七名会員）夕食を共にし、歓談裡に終了した

一、母校近況報告　成田幹事
一、大学創設資金應募の件
一、次回開催地　宮崎海岸
一、役員選挙　今村忠一、天野重夫、成田寛作

（成田生）

第四三回同窓会例会通知

來る六月二十日（日曜）午前九時三〇分より本会第四三回例会を神田三崎町母校講堂において、左記により開催致します。多数会員の御來会を希望致します

一、講演（午前九時三〇分より一〇時三〇分まで）
　歯科界の近況　奥村会頭

二、テーブルクリニック

第一節（午前一一時－一二時）
（一）機能的顎矯正装置の調製法　（東京医歯）高橋新次郎教授
（二）歯堤及残存歯の特異な場合の有床義歯の構成　（日歯）山口秀雄教授
（三）鑄造金冠調製法　（母校）北村勝衞教授
（四）歯科臨牀に必要な小手術の実示　（母校）長宅喜景教授

第二節（午後一時－二時）
（一）前歯レジン歯冠の形成実示　（母校）矢崎正方教授
（二）金属インレーの埋没法について　原田良種氏
（三）改良した樹脂専用「インゼクションフラスコ」の実示　（松風）宮津一氏
（四）歯科臨牀に必要な小手術の実示　（母校）中村保夫助教授

第三節（午後二時三〇分）
（一）パラホルムセメント、水酸化カルシウムパスタ、アンチホルミンの使い方　（母校）杉山不二教授
（二）局部義歯殊に十八・八鋼クラスプ製作の要提　（母校）堀江鉎一教授
（三）改良した樹脂専用「インゼクションフラスコ」の実示　（松風）宮津一氏
（四）歯科臨牀に必要な小手術の実施　（母校）大井清教授

今回の示説は会員各位に充分に得心の行くよう聴講して戴くために、示説室への入場人員を適当数に制限致します。御來会の方は各節共に四つの示説を同時に行いますので御希望の示説を一題宛当日受付にて御申込下さい。御申込と同時に入室証を差上げますから、その証により入室して戴くことになります。定員に満ちた場合はそれで締切りますので、なるべく早く御來会下さるよう御願い致します。

昭和二十三年五月
東京歯科大学同窓会
会頭　奥村鶴吉

同窓会会員各位

大学建設審議委員会 第五回委員会

四月二十九日午後一時より本校において第五回目の大学建設審議委員会を開催。全委員出席。委員長より建設の現況について報告のあつた後病院の新設備を見聞した。更に昭和二十三年度の実施項目予算に概要について協議を行つた。

母校への愛情

去る四月、奥村学長のもとへ、佐賀の横山氏から一千円の爲替と共に後掲の書翰が届けられた。打続く苦境の中に、限りなき母校への愛情を披瀝された同氏の一言一句は、学長を初め、大学建設審議委員会委員一同に深い感激を與えた。我々は我々同窓の中に如何に多くの横山氏が居るかを知つている。そして今後母校が直面すべき幾多の困難がそれ等の愛情によつて解決せられて行くことを信じて疑わない。

拝啓

陽春の砌先生には益々御健勝にて斯界のため御活躍の趣誠に大慶の至りと存上げます。陳れば小生こと永らく母校諸先生方へも御無音に打過ぎ申訳なく存じて居ります。殊には母校大学昇格資金寄附の件も小生家事多難のため今日まで延引失礼の段は何ともお詫びの仕様もございません。実は終戦の年の三月家屋強制疎開の厄に合い、満七ケ年の開業地盤を失い加うるに同年十二月在鮮四〇年の父母、弟妹及び近親等大挙京城より引揚げ來りまして故郷には家もないまゝ老父の切言に従い、故郷近くの当山村に仮居を求めて引こもりましたが、その老父も昨年二月死去引続き小生大患又本年三月に至りニューギニヤに出征した実弟戦死の内報に接する等悲痛後を絶たず先輩級友との連絡もなく全く意氣消沈致して居ました、がはるかに母校昇格の快報やら同窓会報を通じて刺激啓蒙され僅かに元氣を保つて今日に至つて居ります此処に遅まき乍ら老父並びに弟の追善供養をかねて些少ではありますが金壱千円也を小額寄として母校資金の一部にもと寄附致す事としましたので、何卒貧者の一燈と御諒承の上御査収下されん事をお願い致す次第であります。擱筆に際し益に母校及び諸先生方の御発展と御自愛を祈上げますまづは近況労々右の次第。敬白

四月一日
佐賀縣東松浦郡七山村藤川
昭和六年卒業生
昭二会　横山鐘一郎

奥村学長殿

就職御希望の方へ

官公私立其他の病院、診療所へ就職御希望の方は、希望の勤務先を記載して、履歴書を同封の上本会庶務係まで御申出下さい。母校と連絡をとり出來るだけの御斡旋を致し度いと思つています

歯科医員をお求めの方も條件を具し同庶務係まで御申出下さい

通知

目下会員名簿編纂中で大体において完了に近づいておりますが消息不明の会員がだいぶあります。会報の届いていない方は消息不明となつているのですから、そのような方は本会へ連絡をとる様お傳え願います。

会報第一、第三号は未だ多少余部がありますから受取つていない方は御申出下さい。

訂正

前号所載の本会支部長一覧中左記の通り訂正又は追加を致します。同一覧表に御記入下さい。黒点の部が訂正個所。

（旭川）納保育晃　旭川市四條通八ノ右六号
（室蘭）北沢網治　室蘭市泉町六〇
（十勝）杉田末吉　帯広市東一條南一〇丁目
（空知）佐藤勘次郎　空知郡滝川町歴小路
（岩手）佐藤春男　岩手縣岩手郡松堀村
（山形）大浪雄三　山形縣東村山郡天童町
（埼玉）長山参三　熊谷市熊谷二二四一
（岐阜）吉田弘之　岐阜市上竹町二〇
（富山）渡辺初太郎　富山縣東礪波郡出町（去る五月六日逝去されました）
（岡山）辻正子郎　岡山市東中山下九二
（島根）佐和和美　松江市寺町一〇一
（愛媛）西村一雄　松山市西垣生、一五一六

訂正

前号母校新任教授紹介記事中津崎孝道教授の略歴中左の項目が記載洩れ致しましたので追加致します

一、大正十五年　京城帝國大学教授に任ぜられ終戦まで在職

天顔抄休載　都合により本号には休載となりました

水橋クラブ（卓球部OB）の寄附

卓球部OBよりなる水橋クラブでは、昨年秋母校卓球部の再建資金の一部として、金三千円也を寄附し、部員を激励した。尚毎月一回母校に出向いて後進の指導にあたつている。（山田記）

第二回全関東学生卓球OB大会に再度優勝

去る二月十一、十五日開かれた第二回全関東学生卓球OB大会に同窓阿保主将下往年の名選手が出場、決勝戦には強豪東大OBを三対零で撃破し再度の覇権を獲得した。

参加は日大、立大、慶大、愛大、中大、大正大、東大、東歯大、東歯大OBのメムバーは次の通り

監督　山田有勝
主将　阿保壽七郎
臼井良夫
太田稔
渡辺匡

マル超の注射針
（超）
齊木注射針製造株式会社
東京都北区滝ノ川町九一六
電話王子四四〇五・四四〇九番

歯研標準製品
優保指定のスープラ既成鉤及鉤用線、ニッケル合金用新スープラ鑞、冠用鑄造用銀合金シルブライト、シルブライトソルダー、アマルガム合金スーパーアロイ、鋼鐵メロット、リンガルバー、パラタルバー、新製品耐火模型材、其ノ他各種製品
合資会社　大日本歯科技術研究所
東京都品川区大崎本町三ノ五八五
電話大崎(49)九二七、四六一五番

絶讃の的!!眞價を誇る
ウキプラ
スープラ
壓印床義歯
責任者ドクトル　大塚豊美

東京歯科大学理工学研究室御指導
アルギン分離剤
最優秀樹脂分離剤
フヂコン
フヂリット
製造元　藤化成株式会社

科学者の良心が生む
ヂーシーの歯科材料
而至化学工業株式会社
東京都板橋区志村本蓮沼町一八三
電話赤羽(80)二七三・三三四・三一八〇

歯科器械製造販賣
ユニット、ロール、足踏エンジン台、其他製作
畠山製作所
畠山歯科器械店
大阪市東住吉区今川町四丁目

歯科用品全般取扱
吉田製作所特約店
御商　日向歯科商店
東京都品川区五反田一丁目二二五
電話大崎二一七四番

歯科用品の
モリタ
東京店　東京都中央区銀座西三ノ三
京都店　京都市中京区麩屋町二條下ル
大阪店　大阪市南区順慶町四ノ六六
名古屋店　名古屋市中区針屋町一ノ六
小倉店　小倉市室町四丁目
工場　京都市伏見区東浜南町六八〇
京都市右京区西院今田町四五

樹脂床界のNO・1
ルシーン・ルシンバニツシユ
守屋化学工業株式会社
東京都港区芝七号地SKS館内電芝二五九三
工場　群馬縣桐生市横山町三三八電桐生二九八

昭和電工製石膏
棒物各種製造発賣元
Y.N
瀧澤歯科商店
福島縣郡山市細田九四
電話郡山九四〇番

金沢医大教授 谷友次著　新刊　医学微生物学　B5判四二〇頁 定価四〇〇円 〒二〇円
北海道大学教授 井上善十郎著　新衛生学　B5判二四〇頁 定価五〇〇円 〒二〇円
東京女子医大教授 吉岡博人著　衛生統計学　A5 二〇〇頁 定価一八〇円 〒一二円
医学博士 桶田豊治著　生理学要綱　A5判四〇〇頁 定価二三〇円 〒一五円
医学博士 茂木蔵之助著　簡要外科総論　B5判三四〇頁 定価一八〇円 〒一五円
医学博士 高木耕三・岸持昌次著　新旧対照 解剖学名集覧　B6判三六〇頁 定価一九〇円 〒一二円
東京都文京区龍岡町三六
南山堂書店

終戰以後④

奥村鶴吉

終戰以來我國教育の形式も、精神も、根本的な變革を來すに至つたのであるが特に醫歯系教育機関に對する刷新というものは、これを刷新というべく余りにも大きな變化であつた。殊に昭和二十一年十二月末、公共福祉保健部から文部省に與えられた示唆は、むしろ晴天の霹靂ともいうべきものである。大雨一過後の今日においては、そのことが如何に大きな改良となつたかということを誰でも理解し得るに至つたけれども、當時にあつては恐らく皆たゞ驚きの眼をみはつているばかりであつた。そしてこの改革の結果として、或る医学校においては医学教育の停止となり、或る医学校においてはその内容の改善と共に卒業後一ケ年の教養科目修習となつた。けだし卒業後におけるプレメディカルコースということは何の國でも未だかつて經驗しなかつた事であろうと思う。その上に一年のインターン、それから國家試驗という訳であるから医師となる道は益々高く且つ險しくなつたゞけに、將來の医道も医療も共に根本的な變つた姿を以て國民の前に現われて來ること丶期待されるのである。

歯科教育に關しても當然に人々を震駭せしむる如き指示を受けたこれはリジレー中佐から文部省に傳えられた。文部省に與えられたノートの中には専門学校教育の廃止、大学教育発足の時期決定、歯科教育に入学する以前における十四ケ年の準備教育等が盛られていた。そこで学校教育局長は急遽一月十六日午前に歯科医専校長会議を招集し、歯科教育審議会はその午後に臨時総会を開くことになつた。

当日午前十時には飯塚氏（柳生教授代理出席）の他全員が会合、これに對する協議を始めた。間もなくそこえサムス大佐からの電話として、午後三時に公共福祉部において同大佐から説明があるから集るようにという案内があつた。この午前の会合においては各校が教育完遂に對して責任を負うべきことを明かにし、大学教育開始に邁進すべき旨を述べ、更にその過渡期における必要として歯科医学校をAB二級に分ち、A級校は予科一年を加えて終業年限五ケ年の専門学校として今後二ケ年新入生徒募集を許可せられたきこと、B級校は新入生徒の募集をなさゞること、AB両級校共に在学生卒業まで在学せしめ國家試驗を受けしむること　等の対策を決定し、これを午後一時から開かれた審議会の議に附したところ、満場一致これを承認したけれども、眞鍋委員から、前日サムス大佐に面会して意見をたゞいた結果、新入生徒募集ということは如何なる学校に對しても全く望みがなかろうと思うという旨の報告があつた。そうして一同司令部に出掛けていつた。

そこではサムス大佐、リジレー中佐共に待受けていて、一同に對し、サムス大佐から大学教育発足に關する指示と並に専門学校の新入生徒は今後募集を中止すべき旨のお話があつた。そこで私は午前に一同で決定した事項に各人が署名した書面を差出し、考慮を願つたのであるが、新入生の募集はこれを許し難いとの説明であつた。そこで私は歯科医学校における臨牀実習の性質を述べ、今こゝで新入生がなくなれば、自然大学の学生が臨牀実習に従事するまで、少くとも二ケ年の間は附属医院閉鎖の外なき事態になつて、その時これを再開するにしても、あらゆる方面に非常な支障を起して來るということを述べたところ、大佐から「なる程医学校における附属医院とはその性質が違うものであるから、そんなに永い間医院を開かずにいては歯科医学校が大変困るであろうから、それでは今後二ケ年間は専門学校の生徒を募集することは宜しいであろう」という諒解を與えられた。この間約十五分でこの難問題も無事片付いた訳である。それから我々はリジレー中佐と懇談を重ね、結局、第一新教育制度（上級中等学校まで）が昭和二十三年四月に開始の場合には歯科医学校は大学としての歯科医学教育を昭和二十六年四月までに発足すること、第二　歯科医学校が大学としての専門教育を行うにはその以前に十四ケ年の準備教育を要し、その第十三年及び第十四年は大学のリベラルアーツコースたるべきこと、第三　歯科医学専門学校の中A級校は同年及びその翌年の二ケ年だけ新入生徒の募集が出來る、その場合一学年の定員を一二〇名に減少すること及び予科を設けざること等を決定した。

右の中第二項については色々な困難があり議論紛々たる有様であつたが、同年六月廿日教育制新委員会において十四対十四という接戦の後辛じて「六三三二四」という歯科教育の新体系が認められることゝなつた。これによつて歯科教育は二段飛をしたと同委員会の委員は云つていた。即ち第一段においては専門学校から大学へ飛び、第二段においては二年のプリデンタルを設けて、その年限だけ他の大学を飛び越えたという意味である。かくて昭和廿一年には歯科医学校二校が予科第一学年を、翌廿二年には三校が予科第一、第二学年開始したゝめに、廿四年四月五校が一齊に学部第一学年を始めることになる。從つて今年募集の予科生が大学を終るまでは旧制度によつて認められることになる。しかし昭和廿五年四月に（廿四年には新入生は募集せられない）新制プリデンタルコースの第一年が始る訳である。

今日の構想を以てすれば、このプリデンタルコースは四ケ年制の大学（例えば文理科大学）の二年を終えたものが入つて來るのか、又は歯科大学に直接に連続した特殊別コースから入つて來るか、二つの道の何れかをとることになるであろう。この後の場合の制度を実現するためには多分学校教育法の一部が改正されなければ実現出來ないと思われる。そうして昭和廿五年四月新制歯科大学はその発足に先立ち大学設置委員会にかゝるものと思われる。

臨牀 口腔外科と化學療法

長尾喜景

ズルフオンアミド剤の薬理と合理的な使用法

最近顎骨の化膿性疾患に因る死亡率は著しく低下しているように思われる。母校の附属病院外科部に於ても、毎年十名内外の化膿性疾患に因る死亡患者があつたが、昭和二十二年には僅か一例に過ぎなかつた。この事実は一重に最近の化学療法剤、殊にズルフオンアミド剤及びペニシリンのお蔭であると思う。

しかし残念なことには、未だこれらの薬剤が充分認識されないで誤つた方法や用量で使用されていることが屢々あるようである。これには薬剤の生産とか配給方面にも確かに一端の責任はあろうが、それよりも薬剤を使う我々歯科医が薬理に立脚した正しい使用法を知らないために起る場合が多いように思われる。殊にズ剤の場合に副作用を恐れてか、余りにも少量を用いる傾向があり、又本來の使用法である内服（經口投與）を忘れて注射にのみ頼つている場合が多いのではなかろうか、それ故ズ剤の薬理と正しい使用法について簡単に述べることは無駄でないと思う。

一九三五年 Domak がプロントジルを発見したことは余りにも有名であるが、其後プロントジルの作用はパラ・アミノベンツオール・ズルフオンアミドの作用であることが明かにされて以來ズ剤の研究は各國で盛んに行われ、今日迄に報告された誘導体だけでも既に数千種に及んでいる。今我々歯科医師と特に関係の深い主な薬剤を挙げると次の如くである

薬品名	商品名	特に効果ある細菌
スルフアミン	テラポール（第一） ゲリゾン（山之内）	連鎖状球菌
アセトスルフアミン	レギオン（大日本） ネオグリゾン（山之内）	淋菌、連鎖状球菌
チスルフアミン	アルバジル（山之内）、 チセプタール	淋菌
スルフアピリヂン	トリアノン（田辺） アヂプロン（塩野義）	肺炎双球菌、淋菌 脳脊髄膜炎菌、連 鎖状球菌
サルフアダイアジン	サルフアダイアジン（第一）	肺炎双球菌、淋菌 連鎖状球菌
サルフアメラヂン	ピリミロン（日曹） ロメチン（武田）	右ニ同ジ
サルフア（メチール）チアゾール	サルゾール（武田） ネオアルバジル（山之内） ネオチセプタール（中外）	葡萄状球菌、肺炎 双球菌、脳脊髄膜 炎、淋菌
マルフアニール	ホモスルフアミン（武田） マルフアミン（山之内）	瓦斯壊疽菌

適應症　右の表の如く各薬剤には夫々特効のある細菌があるから、ズ剤を使用する場合には先づ第一に原因菌に適應した薬剤を選択することが必要である。例えば連鎖状球菌による丹毒の場合にはスルフアミンが有効であるが、葡萄状球菌による顎骨の炎症の場合には、サルフア・チアゾールが卓効を奏する

作用の本態　ズ剤の作用機轉は過去に於て生体の防禦力を増加するとか、或はズ剤が吸収後に新物質を作り、このものが殺菌作用を現わすと説明されていた。しかし最近では Kuhn の追出反應説によつ極めて明瞭になつた即ち細菌の発育には一種のビタミンが必要であつて、これが無ければ発育は出來ない。研究の結果このビタミンはパラ・アミノ安息香酸であることがわかつこのものが細菌と結合した場合に、細菌は発育増殖することが出來るのである。次にズ剤は其構造がビタミンと近似しているために、これが細菌と結合して、ビタミン即ちパラ・アミノ安息香酸を追出す作用がある。そのため細菌はビタミン欠亡症に陥つて発育が阻止され、生活力が衰えたところを生体の白血球のために貪喰される。これがズ剤の作用の本態である。しかし注意を要することはビタミンと細菌との結合は極めて強く、ズ剤と細菌との結合力の千倍以上と言われているから、少量のズ剤を用いてビタミンを追出すことは出來ない。從つて臨牀上ズ剤を投與する場合には大量與えないと全く無意味である。ビタミン即ちパラ・アミノ安息香酸とズ剤とは拮抗作用があるからズ剤を投與する際にパラ・アミノ安息香酸を含有している薬剤（例えばワカモト、エビオス等の酵母類）や、これと構造の似た薬剤（アネステシン・ノボカイン）の使用は可及的避けなければならない。

用法と用量　ズ剤應用のコツは早期に大量を與えることである。少量投與では前述の如く血液内の薬剤濃度が低く無効であるばかりでなく、原因菌が「抗ズルフオンアミド性」を獲得して抵抗性が強くなる。スルフアミンならば第一回に三―五瓦、ダイアジン、チアゾールでは二瓦内外を與えて一時に血液内濃度を高めると共に、その濃度を持続させるために四時間毎に晝夜の別なく一瓦内外を連続投與する必要がある。この場合重曹の等量或は倍量を併用することにより、ズ剤の血液内濃度を高め、副作用を防止する作用があるから必ず併用する。又解熱したからといつて、直ちに休薬すると再発する可能性があるから、少くとも解熱後（量を半量に減じても）数日間は内服を続ける。次に内服か注射かの問題であるが、ズ剤は經口的應用が主で注射をするのは特別な場合に限る。即ち血液内濃度を速かに上昇させたい場合（第一回に注射を行つて次いで經口的應用に移る）及び口内炎とか嘔吐があつて經口投與が出來ない場合だけである。それ故、配給されたアセトスルファミン 一〇%二cc 一本を一日一回注射するだけでは一日量〇・二瓦の投與であつて全く無意義である。

次に飲料水は多量に與えると、血液内濃度を低め、逆に余り少量の場合には中毒を來す心配があるので、普通一日の飲料水は三、五〇〇cc以内とし、一日尿量を一、〇〇〇cc以上とするよう注意することが必要である

配伍禁忌　前述のパラアミノ安息香酸を含む酵母の類及びアネステシン、ノボカインは禁忌である。又、硫黄を含有する下剤（硫苦、芒硝）はチアノーゼを起すから併用しない方がよい。

副作用　ズ剤は種々な副作用を現す。重篤でない副作用としては、チアノーゼ、悪心、嘔吐、下痢、薬熱、発疹、眼症状、神経症状等があり、重篤なものとしてはアグラヌロチトーゼ、白血球減少症、溶血性貧血、紫斑病、血尿、腎石、無尿、尿毒症、肝臓炎、黄疸、神経炎等がある。スルフアミン、スルフアピリヂンは比較的副作用が頻発し易いが、チアゾール、ダイアジン、メラヂン等は割に少い。しかし腎石、血尿等は起る可能性が無いとは言えないから注意が肝要である。

若し不幸にして副作用が現れたならばズ剤の使用を中止して、飲料水を與へ或は食塩水、リンゲル等を注射して血液内のズ剤を速かに排泄させると同時に、必要によつてはニコチン酸アミド（アペラグリン（武田））を内服させて血中のズ剤を無毒のものに変化させる

以上ズ剤應用の要領を述べたが、要するに大胆に思切つて使い、しかも細心の注意を以て經過及び副作用発現の有無を看視することが最も大切である。

ペニシリンの作用と應用

（1）ペニシリンは吸収後速かに尿中に排泄されてしまう。静脈内注射では一時間、筋肉内注射でも二―三時間後には殆ど全量のペニシリンが排泄される。それ故血液中の薬剤濃度を絶えず高く保つためには二―三時間毎に注射を繰返す必要がある。この欠点を補う目的でペニシリンをピーナッツオイル及び蜜蝋に溶かして一日一―三回の注射で足りるように研究されているが、未だ一般的のものではない

（2）ペニシリンは酸に対して非常に抵抗が弱いので、經口的に用いると胃中で塩酸の作用を受けて破壊され易い。これを防ぐ意味でアルカリ剤或はP.H調節剤を加えて内服させる方法が研究されているが、未だ完成に到らない。殊に我國の現況では注射によるの他はない。又ペニシリンは温と酸素に対しても弱いから密封のまゝ冷藏庫に貯える必要がある。舶來品には室温保存可能なものもあるが、國産では攝氏五度以下に保つよう要望されている、普通冷藏庫は攝氏八度より下らないからこの五度以下という温度は難問題だと思う

（3）細菌に對する作用　ペニシリンに対して感受性の高い細菌と発育を阻止する血液内ペニシリン濃度は次の如くである

淋菌、脳脊髄膜炎菌	〇・〇二（單位―cc）
肺炎双球菌	〇・〇三
連鎖状球菌	〇・〇四―〇・一
葡萄状球菌	〇・一―〇・五

今二十四時間内に一〇万單位を分割注射するとその平均血中濃度は〇・一となり、二〇万單位を用いれば〇・二となる。それ故一日二〇万單位の分割注射によつて連鎖状球菌性疾患には充分であるが、葡萄状球菌性疾患の場合には稀には奏効しない場合がある。これは菌株によつて感受性に大差があるからである。

（4）ペニシリンは全身的にも局所的にも殆ど副作用或は毒性がないから安心して使える。副作用として紅斑、発疹を伴うことが稀にあると言われている。但し乳児にペニシリンを使用するとチアノーゼ、痙攣を來すことがあるとの報告があるから注意を要する。

（5）ペニシリンはアルコールに弱いから注射器の消毒にアルコールを用いない方がよい。

（6）用法　普通は筋肉内注射を行う。滅菌生理食塩水一cc中に〇・五乃至一万單位のペニシリンを溶かす。即ち十万單位のものならば一〇ccの食塩水に溶かすと一ccに一万單位含有となる。これを一回二―三cc筋肉内に注射する。以前の國産品は注射時に疼痛があつたので一%ノボカイン液に溶かしたこともあるが、近頃の一〇万單位の國産品は殆ど無痛である。

我々歯科領域では主として連鎖状球菌、葡萄状球菌が目的であるから一回二―三万單位一日二〇万單位を標準とし、大部分は一日間で解熱する。時にはペニシリンとズルフオンアミド剤を併用し、最初は両者で速かに解熱させ、再発防止にはズ剤を数日間連用させる方法も有効である。

（附記）急性炎症時の手術に際して、プロカインにペニシリンを混和して使用したところ、良いように思はれるので目下追加実驗中である。何れ近い中に発表出來ると思う。（筆者母校教授、口腔外科部副部長）

公衆衛生のニューフエイス 口腔衛生

伊丹一男

総司令部公衆衛生福祉部長のサムス代將は、我國の公衆衛生の在り方について我々に次のように述べた、「單に疾病が無いとか、病弱者が居ないかということだけでは真の健康とは言い得ないのであつて、肉体的にも、精神的にも、且又社会的にも完全な状態に到達してこそ初めて〃健康なる状態〃と言い得る。日本の公衆衛生計画は右のような意味において総ての企画が爲され、且又その計画の完全な遂行には、予防部門、医療部門、社会福祉部門、社会保障部門という四つの部門が統合されて一つの統一あるプログラムとなることが必要である」と。

これは近代公衆衛生の行きかたを明確に指示しているもので、この原則に從い新しい法律が制定されて厚生省及びそれに伴なう地方醫衛生部及び民生部が強化され、この線に沿つて日本の全ての保健所が目下再組織されつゝある。そしてこの近代化した七百八十の保健所が日本全國に公衆衛生の網の目を張り、充分に訓練を受けた人員を備へた暁こそ世界の如何なる國にも劣らない公衆衛生組織を持つに至るのである。

此の再組織の結果、保健所は十二の基本的機能を営むことになり、其の一つとして「口腔衛生」という全く新しいセクションが保健所に登場して來た即ち公衆衛生の完全なプログラムには、口腔衛生が重要な役割を演じなければならないことが改めて確認され、且公衆衛生チームの一員として前の四つの部門の統一ある企画に対し基礎的な義務を負うことになつた。

リチレー中佐は横浜保健所運営講習会で次のように述べた。「年代的には歯科醫学は一般醫学に比して同高年期にあるものであるが、このことは歯科醫学の目的、價値及び業務が劣つているとか又は下位にあるべきであるという如きことを何等意味しない。むしろ公衆衛生業務として歯科が如何なる價値を有するかを証明する絶好なチャンスである」と。

口腔衛生プログラムは最も簡單に言へば、先づ第一に個人及び公衆に対して口腔衛生教育を充分に施し、積極的に有効適切な予防的手段を講じて健康保全に寄與することであろう。

口腔衛生は今まで相当優れた内容を持ちながらも種々な原因によつて充分に國民の保健向上に寄し得なかつたが、今や檜舞台に飛び上つて其真價を世に問わんとしている。光り輝やく照明を浴びて颯爽とステーヂに登つたニューフエイスと言えようラジオの素人演藝会のように、これが鐘一つであつさり失望を買うか、三つ以上乱打されて改めて大きな期待を受けるかは、これこそ歯科医人の責任である。今まで歯科界ではごく一部の人々が異状な熱意を以て口腔衛生に盡して來られたが、この一群の方々に対して他の大部分の人々は極めて冷淡であつたことは争われない。そして更に悪いことには、過去の政府もこの冷淡な組の強力なメンバーであつたことである。我々の多年の念願が通つて（敗戰とゆう事がきつかけではあつたが）歯科医育の面でも制度の面でも多くの改革が進められ、歯科界の社会的地位も向上したかに見えるに至つた。そして國の方針として口腔衛生が取り上げられるようになつたことは誠に喜ばしいことである。

だが、このニューフエイスをスターとして賣り出すには是非とも歯科医人の強力な後援が必要なのである。この後援会の人人がまだ歌舞伎役者(治療医学)に目をうばわれていて、この新スターを食わず嫌いでいるならば、彼女は舞台の余りにまばゆい照明に目がくらみ、一言もせりふを言わぬ間に轉落してしまうかも知れない。

口腔衛生は、歯科医学と一般医学と、それに関係ある全ての科学によつて組立てられたピラミッドと私は考える。歯科医人殊に青年歯科医学士諸君が我が口腔衛生へ自ら進んで参加されることを望んで居る。そして國民も國家も保健所も諸兄を期待して待つている。（筆者、厚生技官、厚生省公衆保健局兼予防局勤務）

「附記」保健所はこれから素晴しい將來が約束されています。新進歯科医師諸君の進出を期待されているそうです。公衆衛生の第一線に御活躍希望の方は厚生省公衆保健局保健課伊丹技官宛又は本会宛に御照会下さい。（編者）

不正咬合の分類

山本義茂

緒言

我々は日常の臨牀に於て種種な型の不正咬合を見る、これ等の矯正治療を成功させるには先づ診断を正しく下さねばならない、それには廣範囲な診断が必要で、現在の不正咬合がどんな状態にあるかと言うことのみに捉われない事が肝要である。齋藤教授は診断の範囲を、（一）、現在の不正位置の状態（何んな状態か）（二）、不正の原因（なぜこうなつたか）（三）、不正の性質（どう変化するか）（四）治療の方針（どうすれば良いか）（五）、予後（最後はどうなるか）等五項目を挙げて充分考究、判断の上治療に取りかゝる事が必要であると述べられている（臨牀歯科学報第二巻六号）

分類

從來不正咬合の診断、治療方針等を決定するに、多くは分類法を使用してきたのである。分類法に關しては現在迄諸学者に依つてそれぐ\の観点から幾多の型式が発表されたが、これを要する症候を主体としたものと、不正の性質を主体としたものとに大別することができる。しかしこれらの中でも前者によるものが殊に多い。更にその分け方の傾向として二通りあるその一つは、不正咬合を簡單に分ける方法で、もう一つは複雑に分ける方法である。簡單な分類法の代表的なものは「アングル」氏の分類法で、多種多様な不正咬を第一大臼の対向関係に依つて三つの「クラス」に分けた点、全く敬服の他はない。複雑な分類法には齋藤教授の八十一の種類に分けた方法がある。併し乍ら分類法は治療の方針を建てることはできても予後を診断するわけにはゆかない。

次に不正の性質による分類法は、不正を原因に依つて分ける方法であつて、現在この種の分類法は極めて少いのである。併し診断の終局目的は予後を判断するにあるから、この種の分類法を重く用いて確実に診断しなければならないのである。現在この種の分類法が殆んど省みられないとは非常に遺憾である。ところで当教室では、（一）障碍型（二）遺傳型（三）停止型の三型に分類して診断をしている。併しこれらの型をどうして鑑別するかに就いては、未だそれを確実に言い現わせないのであるが、その理由は結局遺傳と言う問題が余りにも複雑な要素に支配されているためではあるまいか。併し私はこの分類法をあらゆる角度から研究して、一日も早く不正の性質による分類法を完成したいと思つている。

私は又診断に就いて次のような考え方を持つているのである。即ち患者に対して綜合診断を行う際正常な顔貌と正常なる歯列弓の形態、（乳歯列、混合歯列、永久歯列）及び咬合関係とを熟知しておくことが肝要だと言うことである。例えば不正咬合の患者が來院した際は、正常な型とどこが違うか、又その原因が後天的のものであるか、遺傳的のものであるか等を理論的に追求しなければならない。例えば咬合線彎曲が正常な彎曲と逆な彎曲を呈していたらどうしてこうなつたかを考え、原因が万一解らなければ一應遺傳を疑うべきではなかろうか。或は又例えば上顎の左側の側切歯が舌側轉位、下顎の左右側の側切歯が稍舌側轉位を起している患者が來院したとすれば、上顎左側側切歯の舌側轉位は、犬歯間及び第一小臼歯の幅徑が狭いために起因したと考え、又同時に下顎左右側側切歯の舌側轉位は、上顎歯弓の幅徑が狭いため下顎の幅徑も必然的に狭ばめられ、かくして下顎左右側切歯の萌出余地がなくなつた結果として招來せしめられたと考えるべきである。

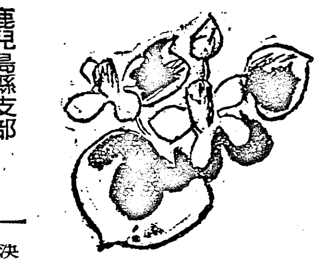
以上の症例では上顎の側方拡大を行えば、上顎の側切歯の余地ができ、從つて下顎も亦拡大しなければならなくなり、そのために下顎の左右側の側切歯の余地もできてくるのである。一概に言えないが、このような症例は理論的によく合致（上顎を拡大すると同時に下顎も亦拡大すること）する故に矯正も容易であると同時に予後も亦良好だと言える。

私は数年來顔貌の研究をしてきたのであるが、顔貌は多種多様で一つとして同じ顔貌は見られないのである、併し不正な咬合があるとその影響に依つて顔貌に種々な変化を及ぼすものである。最近私は不正咬合と側貌との関係を調査し、併せて予後不良だつたと思われる側貌の写真に依つて研究したのである。側貌の写真は教室に保管せる六〇〇例で総て矯正治療を行つたものである。写真は一定條件のもとに撮影し、鼻点と耳点とを結ぶ線、即ち耳鼻線に対して鼻点を起点として直角な線を引くこれを鼻顎線と称す。私は鼻顎線が顎のどう言う部位を通過するかに依つて予後を判断したのである。不正の性質に依る分類法の第一回報告として、上顎突出、反対咬合をそれぞれ二型に分類したが、今後の研究に依つて更にその型が増加することを附言しておく。

以上限られた頁数と側貌の写真を参照することが困難であるから写真に就いての説明は省略させて戴き機を見て記載したいと考えている。

結論

分類法は、不正を原因に依つて分け、以つて不正咬合を診断する際の参考としなければならない。私はこの分類法をあらゆる角度から追究し一日も早く完成したいと考え、その第一回報告として顔貌の観察をしたのである。終りに困難な例とか事後不良だとか云う字句が出てくるが、困難な例と言う事は原因に因るものと、不正の程度が大だと云う事もあるが此処では原因に依るものを言つている。（筆者母校助教授　矯正部勤務）



各地同窓会のうごき

鹿児島縣支部

南國の春たけなはの去る五月二日、新緑の香り高い鹿鳴館にて東京歯科大学同窓会々則の主旨に則り、我が鹿児島支部総会を開催した。

当支部会則の制定、会費の徴集役員選挙、会誌の刊行、其他数々の連絡事項を協議、全会一致を以て決定、終つて懇談、晩さんを共にし歓を盡し時の移るのも忘れ、大いに水道精氣分を発揮して午後九時散会した。出席者十五名。

協議の主なるものを摘錄すれば次の如し。

一、会則の制定に関する件
会則案の作製を新役員に一任し次期総会に提出のこと

一、会費に関する件
昭和二十三年度会費を現在の物價状況に鑑み、本部納附会費を含み年百円とし、出來得る限り早く徴集して本部への分を送附すること

一、役員選挙の件
出席会員十五名を以て投票を行い左記の通り決定した

支部長　山口正人（重任）
副支部長　阿久根東（新任）
幹事　永井長秀、上原正雄（新任）

一、会誌発行の件
会員の親睦融和と医道の高揚のため今後会誌を発行することに決め、創刊号を六月中に発行と決定

一、会員名簿整理の件
在來の同窓会員及び学士会員は名簿が戰災のため不明の分があるので、鋭意調査整理の上会誌に掲載すること。

一、門標、バッジ、東歯歯科製剤の件
希望者数をとまとめ支部を通じて本部に斡旋方依頼すること。

（山口正人記）

福陵会（福岡縣支部）

長閑な春が訪れた―櫻は綻びる時に芽生える吾が福陵会の催し

一、「ヤー久し振りだね」―「お互に白髪が生えで」＝所謂年寄り型
二、「歯科にもパーマネントライナーが流行」「俺れも若返りに」＝初老型
三、「奴さんモー復員したかなあ」「可愛想にシベリヤ組か」＝復員型
四、「いくら働いても税金でしぼられるなら」「一万円の脱税でも」＝脱税型
五、「こんな機会に奴さんとおでん屋にでも」「ヤーコップ一杯百円か」＝自由販賣型
六、「百万円でも当つたら」「アツサリ未納会費を投げ出そう」＝滞納型
七、「モー奴さん新妻を迎へたかなあ」「オーお前もまだかあ」＝独身型
八、「田中も福陵会再建に苦心しちよるな」「片山よりは一寸」＝同情型
九、奥さん「皆さんがご出席なら殿子もOK」＝民主型
十、「今日在ると思へば親爺に対しても綜合せて」＝報恩型

以上の型々を網羅和氣藹々裡に一堂に会し語れ、笑へ、即ち「以和爲貴」秋恰も恩師先生の一週年、師を偲びつゝ学を究むも是れ水道精胖の精神、来よと今こそ我師を讃へむ。奇想天外の案内状謳とせられよ、ご欠席の方は病氣か税金恐怖症かと推察、一日も早くご本復を祈り次回には是非！

次第
一、福陵会総会　時間励行
期日　參月拾四日午前十時（日曜日）
場所　福岡市西中州商工会議所二階
二、恩師血脇先生並武藤先生他物故会員三十九名の追善会
三、臨床集談会十二時―三時半終了
四、五〇円の貧乏くじ（ウソと坊主の頭はゆうたことなし）
一等賞万円二等三千円三等五百円

当日出席会員四十余名に達し盛会であつた
現在会員数　百五十八名
役員改選の結果
会長　田中正実
副会長　田代芳鉄
理事　高石一郎、末藤康德、北正朋、仲野秀雄、兵働四郎、國田頭夫

因に本会々員は傳統的精神を発揮し益々和協会員の発展振りは誠に瞠如たるものがある。

池田明治郎氏は今回歯科医師國家試驗委員に任命され、過般の新歯科医師会の改組に当りては春野屯氏縣会長に兵働四郎氏は專務理事として、岡本功氏、猿渡正來氏は理事、監事に就任、高石一郎氏は学術委員会委員長として縦密せる手腕を揮し、田中正実は公衆衛生委員会委員長となり活動、小田喜右衛門氏は健康保険常任委員兼福祉共済会の專務理事として才氣縦横以て縣下千名近の全会員よりの信頼を集め、当支部將來発展に力強さを感ずる次第である。（田中正実記）

香川縣支部

母校より長尾喜景教授を迎えて

香川縣歯科医師会並に西國鉄道局共同主催の下に、去る五月五日学術講演会が高松市において盛大に挙行された。母校より長尾先生を講師としてお迎えすることを得た

同氏は「化膿性炎症はどんな場合に重症になり易いか及びその処置方針」という演題の下に、極めて新鮮味ある且つ有意義な熱弁をふるわれ、聴講者一同を感激の極に達せしめ、我々支部同窓は大いに意を強くして拜聴した

同氏の來縣に機を逸せず、学会の前日の五月四日金比羅宮神園下琴平花壇において歓迎会並に支部総会を開催し、出席会員廿二名という稀有の盛会裡に、支部会費増額の件、支部役員改選の件を可決し、左記新役員が選出された

支部長　鴨井弼市
副支部長　今井良男、平田正儀
幹事　松崎剛、藤井幸

新役員においては支部の発展を期すると共に、四國連合支部会を計画し、母校との交流を密にする決心である。（平田正儀記）

島根縣支部

四月二十五日石見國太田町において、本支部総会を開催し、新役員の決定其他の事項を協議決定し新たなる構想の下に活動を開始しつゝある。

尚夏頃には臨牀講演会を開催の予定、当日の出席者三十名。

新役員は次の通り
支部長　佐和和美
副支部長　伊野登一、大野忠郎
幹事　板垣信、西村祐二、湯浅義人（佐和和美記）

「附記」島根支部新発足の会合を太田町に開催された際参会者一同の寄書きが奥村会頭のもとを届けられました（編者記）

歯界に冠たる
松風製品
バイオレジン・エナレジン・レジン歯
レジン専用インゼクシヨンフラスコ
松風陶歯製造株式会社
京都市東山区師團道路松風橋南

和歌山縣支部

去る二月下旬本縣支部会を開催參集者十余名、種々協議、懇談を行い、極めて有意義であつた。

五月下旬には南條先生宅にて母校よりも出席を仰ぎ、支部会を開催の予定。（瀬田勇勝記）

埼玉縣支部

五月二日久方ぶりに杉山教授、中村助教授を迎え、熊谷市商工会館において支部総会を開いた。和かな中に議事が進められ、次の様に役員の改選が行われた。

支部長　長山參三
副支部長　大塚久
幹事　佐々木八郎、大沢三武郎、小杉太郎、下平甲一、新井覚吉、矢島司良、井上齋一、長田博美、倉林光久、松岡吾郎、高橋弘、高柳秀夫、江河吉兵衛
評議員　前川平蔵、藤村盛次、奥村徳次、國田國光、木原六郎

かくて会員の親睦と学術人格の向上、母校発展のため努力する旨を申合せ盛会裡に閉会した（長山參三記）

札幌支部

三月八日故血脇先生一週忌遥拝式を星井聯合支部長宅において挙行し、殆ど全会員出席、式後同窓会例会を開催した。

折から函館より偶々所用にて來札された同窓を迎え、一同折詰で一盞を傾け歓を盡した。その折、氏は祝辞を述べて曰く「会費問題やその他の問題を議するに各自勝手の熱を吹き甚だ活発なり。然れども和氣満ち、又甚だ民主的なり非常に感激せり」と。これで札幌支部の状態はよくお解りのことゝ思う。

又昨年十一月歯科医師会改組に際しては会員中より北海道歯科医師会々長に筒浦武夫氏、同專務理事には榊原立郎氏選出せられ、益々その地位の重きを痛感している

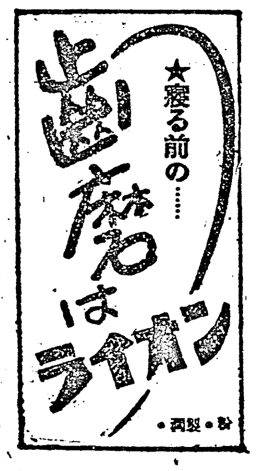
現在会員三十九名、札幌歯科医師会々員数の三分の一弱を占めている（支部幹事）

同窓会三條市 月例臨牀懇談会

新潟縣三條市では新進の先生が主体となつて月例懇談会を開催、第一回を四月十七、十八日両日桑原（中曾根屋材料店）氏の二階にて会合、三條市を中心として各郡より集る者廿数名で盛会であつた。母校より、山本義茂、岩瀬豐商氏が出席各担当の学科の講演示説を行つた（五十嵐記）

お断り

各地支部の通信も号を追つて活潑となり、編集委員一同感激して居ります。今後ともどしぐ\御投稿願います。但し記事の都合によつて内容を取捨し、又は仮名づかいを統一することがあるかも知れません。予め御諒承願つて置きます。


★寝る前の……
歯磨はライオン

引揚同窓名簿（其四）

台湾の部

澁谷孝雄（台北）富山縣滑川町富山縣農業会第二病院歯科、高橋敬文（台北）長野縣南佐久郡前山村貞祥寺内、唐仁原景秀（台北）兵庫縣明石郡大久保町國立大久保病院内、今井倭武（台北）新潟縣新発田町三ノ町金原方、齋藤工興（台北）大分縣大野郡三重町、松田繁義（台北）高知縣小高岡郡久禮町中島通、大岡舜（台北）島原市港本町

中保仁久（台中）岡山縣和氣郡三石町九六四

石原暁明（台南）山梨縣南巨摩郡増穂村青柳、上顧料興市（台南）鹿児島市郡元町二、一〇五

伊藤博久（高雄）（舊姓廖五詳）東京都中野区新山道三ノ二一七、高島善人（高雄）東京都足立区五反野南町一、二二六、玉井喜平太（高雄）今治市中河原通二〇、高野福次（高雄）埼玉縣埼玉郡手子林村神戸

伊ケ崎貞雄（嘉義）京都市中京区壬生森町四五

齋藤周二（台地）

○歸國しているもの住所不明のもの

内保傳次（台北）、藤井昇（台北）、木村靜（台北）、臼井常英（台地）、池田合二（台北）、荒川義一（台北）、奴田原治富（台北）雨宮殖（台北）、沢熊保吉（台北）、國本豊志（台中）、栗原正吉（台中）、松本勇（台中）、八木庫吉（台南）、重光英宗（台南）、建川正一（台南）、田島尊德（高雄）、武田義夫（高雄）、安藤榮一（嘉和）、伊藤宇平（基隆）、内田秀明（基隆）、信太主恩（澎湖）、石村光範（新竹）、山崎敏夫（新竹）、小川弘（新竹）、中川圭吉（新竹）、松田文雄（新竹）、河原三男（花蓮港）福田定二郎（花蓮港）、菅愼三郎（花蓮港）、

沖縄の部

永井長積（那覇）川内市宮田町五九三、永井長秀鹿児島市西田町大迫直（那覇）川内市白日町七二五篠原國彬（平良）鹿児島市上荒田町九一

○消息不明のもの

上原信夫、金城嘉植、佐々木節雄柴田米藏、竹内勇次郎、西村数人友寄英彦、山城正忠（以上那覇）高嶺長二（平良）大岩功（石垣）玉城孝夫（糸満）

樺太の部

三輪敏夫（泊居）東京都足立区千住末廣町三兒玉方、篠田俊雄（塔路）札幌市南二條西六丁目七、谷田良仁（眞岡）群馬縣佐波郡境町諏訪町八一二

○消息不明のもの

稻垣金作（眞岡）高橋茂（諧津）鈴木清吉（豐原）友成紫城夫（知取）栗原亨（珍内）池田政勝（野田）本山祐壮（西柵丹）並木寛（西柵丹）

南方の部

本間清（シンガポール）東京都板橋区志村町一ノ九、中村典（シンガポール）鹿児島縣出水郡阿久根町、村上信人（ジャバ）德山市富田新町、大橋作夫（南方）横須賀市野比町七九六

附記　これで引揚同窓の名簿を一應完了致します。まだく消息不明の会員が相当多数おられることは、今までに掲載致しました通りであります。消息不明として掲げました会員の中で、消息の判明致している方がありましたなら本会宛御連絡願います。（編者）

文藝欄設置

この会報も四号を発刊し得、今後も何とかして諸種の困難に打勝つて継続して行きたいと思つています。最近会員の間から文藝欄というような欄を設けて、会報に一層のうるおいを與える様にとの要望が出て居りますので、次号から設置することに致しました。詩、短歌、俳句など奮つて御投稿願います。尚紙面に限りがありますので、場合によつては適当な選者を依頼し、取捨することがあるかも知れません。予め御諒解を願つて置きます。投稿先は母校内同窓会報編集委員会宛に願います。

店は小さくても品物は豊富です
ナンダカンダの須田町のオヌキへ
御用命を願います
小貫歯科商店
東京都千代田区神田須田町一ノ六
電話神田(25)四〇六七

大阪
オリエント社
各種歯科器械、材料、薬品左庫豊富
御用命は是非オリエン社へ！
大阪市阿倍野区共立通り一ノ四七

〝ピヤス〟クレンザー、リーマー、ピーソーリーマー
ブローチ、ドリル
ピヤス株式会社
工場　東京都江戸川区平井町四ノ一三七三
電話城東（68）五六三番
東京都板橋区上赤塚町一、〇五七

各種、鉗子、プライヤー、送風器、板金物、模型
其ノ他小器械一式製作
株式会社　佐野製作所
東京都千代田区神田五軒町四五
電話下谷（83）二、三二七番
四、八一九

製作種目―ハンドピース、コントラアングル
エンジン上部、K・4スリップジョイント
ニューパラゴン昇降治療台
KKK
三殖株式会社
埼玉縣與野町上落合　電話大宮
東京連絡事務所　東京都千代田区五軒町四五　電話下谷（38）二、三二七番
大阪連絡事務所　大阪市南区安堂寺橋通り四ノ二一

抜歯鉗子プライヤー金冠ハサミ椊物製造
歯科器械材料一般卸小賣
有限会社　進興歯科商社
営業所　東京都中央区日本橋本町四ノ一〇
工場　東京都荒川区町屋三ノ一五二
電話　茅場町（66）四〇四一、五二四八

歯科器械、材料一般
御開業御増設は是非当店へ
吉田製作所製品特約販賣
高島歯科商会
旭川市三條通り六丁目左二号

歯科器械材料全般
御開業、御増設御引受
田中歯科器械店
東京都千代田区富士見町一ノ三
電話九段（38）二、二九三番

各型ユニット、昇降治療台、蒸和釜、ロール、足踏エンジン、咬合器、フラスコ其ノ他技工用具全般
吉田製作所
山中
本社　東京都豐島区巣鴨一丁目十二　電話（64）一、八四〇番
川口工場　埼玉縣川口市北町二ノ一三四五
営業所　東京都千代田区神田五軒町四五　電話下谷（83）二、三二七番
大阪支店　大阪市南区安堂寺通り四ノ二一

皆様の雑誌!!
臨牀歯科学報（代金一ケ年分概算拂百五十円）
本社　東京都世田谷区松原町三ノ八〇二　振替東京一九五四五五
編集所　東京都千代田区神田三崎町東京歯科大学内